

充実した体験活動を行っています

豆腐づくり体験（3年生）

12月9日(月)、3年生が手作り豆腐づくりにチャレンジしました。講師は、全国豆腐品評会で入賞しておられる、地元高郷町の「とうふ屋おはら」店主小原直樹さんです。子どもたちは小原さんの指示で手際よく豆腐作りに取り組むことができました。小原さんの豆腐は、そのままたべても美味しく、これまでに食べたことのない豆腐でした。子どもたちからは、「プリンのように甘くて美味しかった」「四角い豆腐じゃなくて今日作ったざるに入った豆腐はすごかった」「豆腐づくりは、ちょっとむずかしかったけど自分たちで作った豆腐はとっても美味しかった」などの感想が聞かれました。



豆腐作りに取り組む児童

味噌造り体験（5年生）

12月10日(火)、5年生が味噌造りにチャレンジしました。講師は、「樽っこ味噌」の佐藤仁子さんです。味噌造りは今年で3年目の取り組みです。子ども達は、麴と塩を混ぜ合わせたり、煮豆をつぶしたりと進んで活動することができました。煮豆を食べた子ども達は「美味しい」と口々に言っていました。そして、今年は昨年まで作っていた量の4倍の4kgを仕込みました。キャリア教育の一つとして、自分たちで造った味噌を「おでん味噌」のように商品化し「ネーミング」「ラベル製作」「パンフレット製作」などを自分たちで行い販売する体験活動にしたからです。これから一年かけていろいろな取り組みをしていきます。どんな活動になるか楽しみです。



味噌を仕込み終えて笑顔

しめ縄づくり（6年生）

12月10日(火)、6年生が荻野集会所でしめ縄作りにチャレンジしました。講師は今年も「吹荻福寿会」の方々をお願いしました。子ども達にとって初めての体験で心配しましたが、悪戦苦闘しながらも二人組になって協力しながらきれいなしめ縄を完成させることができました。高郷地区で引き継がれている伝統の技に触れて学ぶことは子ども達にとって価値のあることであり、また、郷土を愛する心を育てることに繋がります。今後ともご支援くださいますようお願いいたします。



完成したしめ縄を持って

租税教室（6年生）

12月12日(木)、6年生が租税教室の出前授業を受けました。税金の仕組みや税金によって賄われているもの(学校・警察・消防などの公共機関、公園や図書館などの公共施設)について教えていただきました。また、最後には、一億円の模擬紙幣を見せていただき、その大きさと重さに驚いていました。税の大切さを実感することができた授業でした。



1億円の模擬紙幣に興味津々

授業参観・学期末懇談会お世話になります

来週の月曜日には、先日配付しました案内文どおり「第2学期末授業参観および懇談会」を行います。年末のご多用の所申し訳ありませんが、ぜひ、参加くださいますようお願いいたします。

